

行政事業レビューシート (環境省)						
予算事業名	農用地土壌汚染対策費		事業開始年度	平成19年度	作成責任者	
担当部局庁	水・大気環境局		担当課室	土壌環境課	土壌環境課長 笠井 俊彦	
会計区分	一般会計		上位政策	大気・水・土壌環境等の保全		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	農用地の土壌の汚染防止等に関する法律		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	農用地土壌汚染防止法では、人の健康保護の観点から、食品の基準を準用し、米に含まれるカドミウムの量に基づき対策地域の指定要件を定めている。本調査では、米のカドミウム以外の食品の基準が設定された場合を想定し、カドミウムについて、栽培条件や品目ごとのカドミウム吸収特性に及ぼす影響等に係るデータの収集・解析等を行うとともに、その他の汚染物質についても、農作物中と土壌中の汚染物質濃度の相関や、農作物及び土壌の調査・分析手法に係る検討を実施することにより、人の健康保護を図ることを目的とする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・カドミウムについて、作物への吸収特性に影響を及ぼす、品目間の差や様々な土壌の種類による差についてデータを収集・解析するとともに、カドミウムによる土壌汚染を専門とする大学教授等の学識経験者を含めた検討会を開催し、今後の農用地における土壌汚染対策について検討する。 ・その他の汚染物質の農作物への吸収特性等についてデータを収集・検討を進める。 					
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度には、これまでに収集した作物のカドミウム吸収特性や品種間差、土壌間差に関する基礎的なデータを用いて、農作物と土壌のカドミウムの濃度の関係について、学識経験者を交えて解析を実施した。 ・また、実際の農用地におけるカドミウム分布を適確に把握するための試料の採取方法などについて、実証実験を実施した。 ・その他の汚染物質に関する調査としては、汚染物質を添加した土壌等を用いた試験を行い、土壌中の汚染物質の含有量及び存在形態や、土壌の化学性等が農作物への吸収特性に与える影響について、調査を行った。 					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	58	42	48	52	
	執行額	64	44	42		
	執行率	110.3%	104.8%	87.5%		
	総事業費(執行ベース)	64	44	42		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<ul style="list-style-type: none"> ・環境省監督職員が適時具体的な指示を行うとともに、事業者と電話や電子メールで密に連絡を取るとともに、栽培ほ場や分析を実施する研究所の視察や適時担当者と打ち合わせ会議等を行うことで事業の進捗状況等を把握している。 ・また、本事業において実施した検討会等には環境省職員も出席し調査の実施方法が適切であるか、及び業務が適正に履行されているか確認をしている。 ・年度末には報告書等の関係書類の提出を受け、適正に履行されたことを確認している。 				
	見直しの余地	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き競争性のある契約を実施する。 ・単年度契約の事業となっているため、冬小麦のように年度をまたぐ農作物についての調査や、土壌における汚染物質の年次変化(存在形態や化学性など)についても検討ができるよう、契約のあり方を改善することで複数年の調査事業について、採用可能となる。 				
予算・監視の・所効見率						
補記						

環境省
42百万円

・農用地土壌汚染対策のための
各種調査の契約

【少額随意契約】

A 大成建設(株)
1百万円

〔植物浄化に利用した植物残さのエタノール化に伴うカドミウムの移行の調査の実施〕

【総合評価入札】

B (社)日本植物防疫協会
8百万円

〔カドミウム以外の環境汚染物質の農作物への吸収特性等についてのデータ収集の実施(うち、作物試料の栽培等)〕

【一般競争入札】

C プロファ設計(株)
3百万円

〔カドミウム以外の環境汚染物質の農作物への吸収特性等についてのデータ収集の実施(うち、試料の分析)〕

【総合評価入札】

D 国立大学法人東京農工大学
10百万円

〔カドミウムの作物への吸収特性に影響を及ぼす、品目間の差や土壌の種類による差についてのデータ収集・解析(うち、作物試料の栽培及びデータ解析)〕

【一般競争入札】

E (財)日本食品分析センター
7百万円

〔カドミウムの作物への吸収特性に影響を及ぼす、品目間の差や土壌の種類による差についてのデータ収集・解析(うち、試料の分析)〕

【総合評価入札】

F 日本工営(株)
13百万円

〔農用地土壌汚染防止法に基づくカドミウムの指定要件の在り方等の見直しの検討〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように
 記載)

B. (社)日本植物防疫協会			F. 日本工営(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	カドミウム以外の汚染物質の農作物への吸収特性等に関する調査費のうち試料栽培費	8	雑役務費	農用地土壌汚染防止法に基づくカドミウムの指定要件の在り方等の見直し検討費	13
計		8	計		13
C. プロファ設計(株)					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	カドミウム以外の汚染物質の農作物への吸収特性等に関する調査費のうち試料分析費	3			
計		3	計		0
D. 国立大学法人東京農工大学					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	カドミウムの農作物への吸収特性等に関する調査費のうち試料栽培費及びデータ解析費	10			
計		10	計		0
E. (財)日本食品分析センター					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	カドミウムの農作物への吸収特性等に関する調査費のうち試料分析費	7			
計		7	計		0